

新・世界と日本の水事情

グローバルウォータ・ジャパン代表 吉村 和就

第6回



イランは現在、国家の量が流れていた。現在の状況は、当時とは質的に異なる段階に入っており、専門家の間ではこれを「水の破産 (Water Bankruptcy)」と呼ぶ。特に2025年後半から26年にかけて状況は急激に悪化しており、首都テヘランを含む主要都市で、生活用水の供給が停止する「デイ・ゼロ (給水不能日)」が現実の脅威として語られるようになった。

1. 「国家の非常事態」と言われる現状 (25~26年)

テヘランを支える主要制限

「水の破産」に直面するイラン

乾燥気候帯 (砂漠地帯) に位置するイラン (人口約9280万人) は、年間降水量が約228ミリと少な、1人当たりの水資源量も世界平均の約4分の1にすぎない、もと

5ダムの貯水率は約10%にまで低下している。一部

部のダムでは流入量が例年を大幅に下回り、実質的に機能停止に近い状態

である。

首都テヘランでは、背後に連なるアルボルズ山脈 (標高4千~5千メートル) の雪解け水をダムに貯水し、水源として利用して

る首都テヘランからの

「避難」や「首都移転」を検討せざるを得ないとする、極めて異例の警告を発している。

・ダムの枯渇

・広範囲の断水と水圧

テヘランを支える主要制限

5ダムの貯水率は約10%にまで低下している。一部

部のダムでは流入量が例年を大幅に下回り、実質的に機能停止に近い状態

である。

首都テヘランでは、背後に連なるアルボルズ山脈 (標高4千~5千メートル) の雪解け水をダムに貯水し、水源として利用して

る首都テヘランからの

2. なぜここまで悪化したのか (主な要因)

この水危機は、単なる地球温暖化による「異常気象」ではなく、数十年にわたる政策判断の無作為、すなわち「人災」としての側面が強いと指摘されている。老朽化した水インフラの更新遅れ、カナート (地下水路) の

自然の水循環を破壊した。代表例として、国土を

横断するザー・ヤンデ川 (全長約400キロメートル) 上流に大型ダムが建設された結果、下流域の水量が激減し、都市イス

ファハーンでは川底が干上がる状態が常態化している。

・非効率な農業政策

・経済制裁の影響

長年の経済制裁により、水インフラ更新に必要な資金や最新技術の導入が困難となっている。

送水管・給水管の老朽化による漏水が放置され、テヘラン市内の漏水率は約30%に達している。さらに、地盤沈下による配管破断が被害を拡大させている。

・地下水の過剰汲み上げ

・社会的・政治的インパクト

水問題はもはや環境問題にとどまらず、国家の

安定や治安を直接脅かす要因となっています。

・水紛争と抗議デモ

水配分を巡り、地方都市では住民と政府あるいは州同士の衝突、いわゆる「水暴動」が頻発している。イスファハーン州では、農民がザー・ヤンデ川の水配分に抗議し、ポンプ場への放火・破壊に発展した。治安部隊は

催涙ガスで鎮圧したが、その後も抗議行動は繰り返されている。

・水を失った気候難民の増加

水を失った農村部から都市部、さらには国外へ移動する「気候難民」が増加し、社会不安の火種となっている。政府発表によれば、水を失った国内避難民は約80万人に達している。

おわりに

イラン政府は、この国家の存亡を脅かす深刻な水危機に対し、新規ダム建設、海水淡水化、人工降雨、テヘランでの夜間断水や節水キャンペーン、水利用に対する罰金制度の強化、隣国パキスタンからの水輸入検討、農業灌漑の効率化、地下水汲み上げ規制、漏水対策の強化など、短期・長期の対策を進めている。

しかし、気候変動の激化に加え、経済制裁下で外国からの技術・資金支援が限定される中、これらの対応は十分に機能しているとは言い難く、国民生活への影響は深刻化する一方である。

まさに「焼け石に水」の状況であり、イランは世界で初めて「水の破産」に直面していると言っても、過言ではない。

枯れたザー・ヤンデ川。川床が歩行者通路に (2008年)

水問題

環境問題

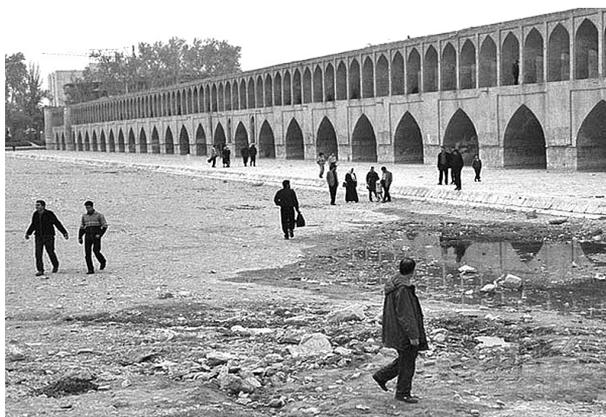
政治問題

社会的問題

経済問題

環境問題

政治問題



枯れたザー・ヤンデ川。川床が歩行者通路に (2008年)

水問題はもはや環境問題にとどまらず、国家の安定や治安を直接脅かす要因となっています。水を失った気候難民の増加、水を失った農村部から都市部、さらには国外へ移動する「気候難民」が増加し、社会不安の火種となっている。政府発表によれば、水を失った国内避難民は約80万人に達している。